

来週の「売り物」記事はこれ



2012年4月6日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

親の高齢化で、障害者の生活は

くらしナビA面 10日(火)

知的障害の子どもも多くは、同居の親が介護しています。親が亡くなれば、日々の生活に支障が出るため、社会全体の支援が欠かせません。グループホームなどの施設も足りない中で、将来に不安を抱える家族たちの声を紹介し、地域での受け皿づくりを考えます。



新企画！ ご当地<食>ウオーク くらしナビB面 10日(火)



全国のご当地グルメを訪ねる月1回のシリーズが始まります。初回は、秋田県仙北市の「神代(じんだい)カレー」。昭和30年代の昔ながらのカレーに、現代風カレーをあいがけし、2種類のカレーを一皿に。名物の漬物「いぶりがっこ」も添えられ、観光客の人気を集めています。

快適に眠りたい

くらしナビB面 12日(木)

新年度で引っ越した方、新居でぐっすり眠れていますか？ 快適な睡眠を得るには、照明や寝具に工夫が必要です。専門家によると、寝室の照明は暖色系で暗めに、布団はフィット感があり軽いものが最適。寝室に書斎や趣味のコーナーを設けると、眠りの妨げになりますのでご注意ください。



「ほつれ髪の女」の秘密

夕刊特集ワイド面 9日(月)



東京・渋谷のBunkamuraで開かれている「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」(6月10日まで)の目玉は「ほつれ髪の女」である。イタリア北部のパルマ国立美術館でその絵を目にした前ローマ支局長の藤原章生記者が、彼女の顔の陰影が目について離れなくなった理由を探る。「レオナルドが目指した絵のは絵を通して命をつかみ取ること。他の肖像画にはこれほどの動きはない」と称えるのはナポリ大のカルロ・ベツチェ教授。教授によると、ダ・ヴィンチは男と女の垣根を乗り越えようとしていたというのだ。

イネス・アゴスティネッリさんが点検する「ほつれ髪の女」

運動面連載「インサイド」

スポーツから差別追放を — ロンドン五輪の取り組みを紹介

10日から

7月下旬開幕のロンドン五輪では、「多様性」がキーワードの一つになりそうです。ホスト国の英国では、人種、民族、性別、性的指向、身体能力などで少数派とされる人々も、差別なく五輪に受け入れるメッセージを発信しようとしています。運動面の連載「インサイド」では、英スポーツ界の差別排除への取り組みを紹介します。経済的に貧しいアフリカ系移民らにスポーツをさせる活動、障害者スポーツのプログラム作り、同性愛者差別を禁じる動きなど。10日から5回を予定しています。また、10日掲載の特集「月刊ロンドン五輪」では、英国で普及しているネットボールを紹介します。



第70期名人戦七番勝負 第1局 10、11日



森内俊之名人＝写真左＝の連覇か、羽生善治王位＝同右＝が奪還し通算獲得タイトル数の新記録達成か——。第70期名人戦七番勝負が、いよいよ始まります。第1局は10、11日、東京都文京区の椿山荘で行われます。

前期と同じ2人が、立場を入れ替えて対戦。羽生はA級順位戦を9戦全勝で駆け抜け、好調を維持。名人位を獲得すれば、タイトル通算81期となって大山康晴十五世名人の記録を塗り替えます。迎え撃つ森内は、名人戦とは相性が良く、調子を整えて待ち構えます。小学生時代からのライバル、名人戦七番勝負では7回目の顔合わせ。大一番の幕開きです。

超大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」！

チェルノブイリからはるか2000キ。

英国「ホットスポット」の衝撃

朝刊 4月8日（日）

記者が現場を歩き、見て、聞いて感じながらニュースの深層、話題の人物の内面に深く迫る、超大型ルポシリーズ「S」。初回の「ダルビッシュの謎」はおかげさまで大好評でした。

そして、第2弾として、お届けするのが、福島第1原発の事故に苦しみ続ける日本にとっては、とても他人事でない衝撃ルポターゲットです。チェルノブイリから2000キ。離れた英国では、いまだに羊肉の出荷規制が続いています。26年前のチェルノブイリ原発事故で降り注いだ放射性物質が原因です。四半世紀以上の時間が経過しながら、いまだに遠く離れた英国の農家を苦しめる原発事故——。農家、政府関係者を丹念に取材するなかで、知られざる原発事故の影響を報告します。このほど、優れた国際報道を執筆したにジャーナリストに贈られるボーン上田賞に輝いた会川晴之・欧州総局長の渾身（こんしん）のルポです。



チェルノブイリ原発事故を起こした4号炉

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。